

概要版

菊池市下水道事業経営戦略

【作成主体】 菊池市下水道課

【期 間】 R2～R11

趣 旨

◆経営戦略の策定については、将来にわたりサービス提供を安定的に継続することが可能となるよう、経営基盤強化と財政マネジメントの向上を図るために総務省より策定するよう要請のあった中長期的な経営の基本計画を目的としています。

根拠法令等

- 総務省通知「公営企業の経営に当たっての留意事項について（平成26年8月）」
- 「公営企業の経営戦略の策定支援と活用等に関する研究報告書（平成27年3月）」など

現状と課題

【現状】

◆公共下水道事業（1施設）・特定環境保全公共下水道事業（2施設）・農業集落排水事業（5施設）・浄化槽市町村整備推進事業・小規模集合排水処理施設事業（3施設）・個別排水処理施設事業の6事業を行っている。

◆汚水処理費に対する使用料収入の回収率について、公共下水道、特定環境保全公共下水道は90%後半、その他4事業については50～60%であり、不足分については主に繰入金により賄われている。

◆水洗化率は年々増加傾向にあり全事業、全国の類似団体を上回っている。

【課題】

◆現在、処理施設について公共下水道事業の改築更新を実施しており、今後特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業の老朽化に伴う更新が必要となり、多額な費用が見込まれる。

◆市全体の人口減少の中、現段階では処理区域内の人口について減少は見受けられないが、将来には使用料収入の減少が予測される。

目指す将来像の概略

- 経営基盤の強化
- 安全・安心で衛生的な生活環境の構築

目標

経営内容の健全化
広域化に基づく適正な施設配置
収支に基づく適正な使用料

SDGsのゴール

6 安全な水とトイレを世界中に

効率化・経営健全化の取組み

【1 経営基盤の強化】

- ①投資の合理化
ストックマネジメントの手法による効率的な施設管理
- ②組織の効率化と人材育成
民間委託による専門知識を活用した効率的な運営
- ③広域化の検討
県及び他自治体と調整を図り処理施設の統合について検討する。
- ④使用料の検討、収納率の向上
収支状況に基づく使用料の検討、未収金対策の継続実施
- ⑤不明水対策
調査による不明水の解消

【2 安全・安心で衛生的な生活環境の構築】

- ①下水道への接続の推進
水洗化への啓発活動、適切な下水道への排水を推進することで、水環境の向上を図る。
- ②施設の整備拡充
管渠の延伸や浄化槽など未整備地区の解消を実施することで、水洗化の更なる向上を目指す。
- ③施設の適切な維持管理
安定的な施設機能の維持、維持管理のスリム化に努める。

検証

進捗管理やPDCAサイクルなどを用いて事後検証を行い、5年目に経営戦略の見直しを行っていきます。